

第23回評議員の開催

5月30日（水）に第23回評議員会が開催されました。代理及び委任状を含め、33名の出席がありました。村瀬評議員が議長となり、田中専務理事等か

ら平成18年度事業報告及び収支決算案並びに平成19年度事業計画及び収支予算案について説明がありました。



第18回研究審議会の開催

4月27日（水）に研究審議会が開催されました。5名の委員の出席がありました。越正毅委員（東京大学名誉教授）が座長となり、宮田年耕委員（国

土交通省道路局長）から最近の道路行政についてお話をいただいた後、田中専務理事及び辻常務理事より平成18年度の機構事業の説明がなされ、これら

をもとに各委員からご意見をいただきました。

役員の変替

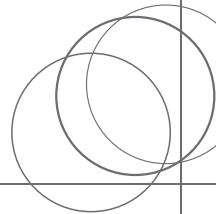
5月31日の任期満了に伴い、5名の理事と1名の監事が交替しました。6月1日から、新たに理事又は監事に就任されたのは以下の方々です。

津江克信理事、河田信生理事、高橋修理事、中津伸一理事、梅原肇理事、板沢幹雄監事

第23回 海外調査団のご案内

毎年実施しております海外調査団の派遣につきまして、本年は以下のとおり予定しています。パンフレットは、会員の方には送付させていただきました。ご参加をお待ちしています。（なお、お問い合わせ等は、調査部 齋藤（03 - 3545 - 6699）までお願い致します。）

1. 期間 平成19年11月17日（土）～28日（水） 12日間
2. 訪問国 オーストラリア、ニュージーランド
3. 調査予定先 シドニー・メルボルン・オークランド等のITSシステムやシーニックバイウェイ的取組他



マレーシア副大臣訪問

2007年8月2日より10日の8日間、マレーシア公共事業省ズイン副大臣をヘッドとする高速道路庁副総裁らの幹部計9名の技術調査団が訪日し、日本のITS等に関する各種調査を行いました。その調査の一環として、8月7日に当財団にも訪問され、辻常務理事よりグローバルETCのプレゼンテーションを実施しましたので、ここに報告いたします。



マレーシアではすでにタッチアンドゴーによる料金課金と、赤外線方式によるETC (SmartTAG) が全国規模にて導入されており、ITSの導入ではアジア諸国の中でもトップクラスの国です。今回、公共事業大臣によるETCのフリーフロー化による更なる渋滞解消の指示を受けて、マレーシア国内ではフリーフローに適した新たな方式の検討が進められています。現時

点では、ヨーロッパのCEN方式による1ピース型車載器が有力との噂もある中、方式検討のキーマンであるズイン副大臣やマレーシア高速道路庁(MHA)の幹部らが当財団に來られた機会を生かし、日本のグローバルETCの優位性等につき、プレゼン

テーションを行いました。

辻常務理事によるプレゼンテーションでは、「日本のETC」「グローバルETC」「ITS展開への活用」そして「マレーシアのマルチレーンフリーフロー化に向けたグローバルETC」と大きく分けて4つのテーマでの説明を行いました。

説明の中で、車載器のコストの問題や、グローバルETCへの移行期間、HIDOとしてどのような形での支援が可能なのか等の積極的な質問がなされました。また、マレーシアのマルチレーンフリーフロー化への提案の中で、既存のマレーシアのタッチアンドゴーによる課金インフラはマレーシアにとって重要な資産であり、グローバルETCはその資産を有効に活用できるシステムであると説明した所、マレーシア側からは感謝の意を示されました。

TRAFFIC & BUSINESS

季刊・道路新産業

SUMMER 2007 No.87

(平成19年10月9日)

発行 財団法人 道路新産業開発機構
〒104-0045 東京都中央区築地7丁目17番1号
住友不動産築地ビル2階
TEL 03-3545-6633 (代表)
FAX 03-3545-6660
ホームページ <http://www.hido.or.jp/>

編集発行人 伊藤清志
編集協力 株式会社 きょうせい
印刷 有限会社セキグチ

今号から編集体制が変わりました。皆様により一層有益な情報をお届けできるよう編集を心がけていきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

★本誌掲載記事の無断複製をお断わりします。